

とうふねこ座：市川雅子 画

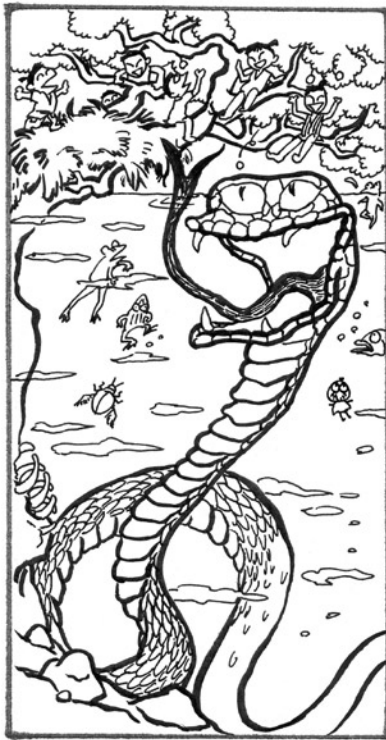
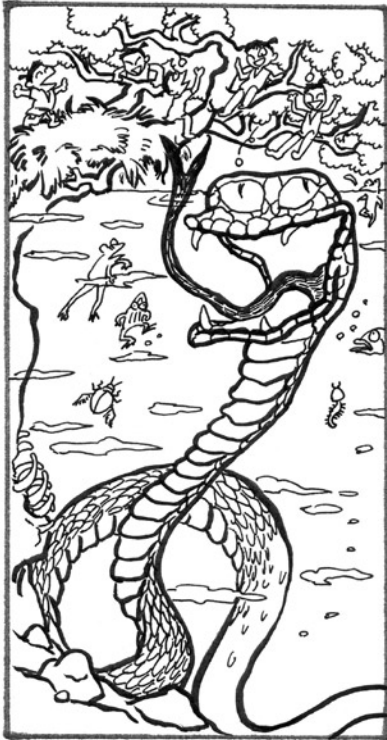
# まちがいがし クイズ

蒲郡の民話③

「さやがぶち」(水竹)

## 問題

左右の絵を見くらべて、  
まちがいを8カ所見つけてください。



## 抽選で素敵なプレゼント

全問正解された方のうち、抽選で5人の方にクオカード  
をプレゼントします。なお、賞品は2月初旬ごろ郵送します。

あなたは何分でわかりましたか？

- ・2分以内……………天才
- ・5分以内……………秀才
- ・8分以内……………普通

### 応募方法

ハガキまたはファクスに、答えと住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり2月号に掲載しますので、ご了承ください。

### 送り先

〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号  
蒲郡市役所企画広報課「クイズ」係 FAX66♦1190

### 応募締切

12月19日(金)当日消印有効

### 「さやがぶち」

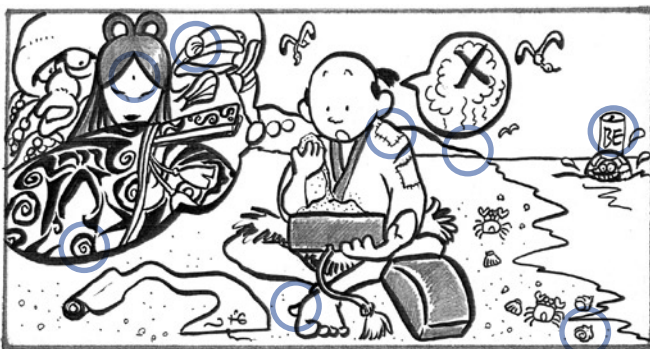
清田の村はずれに、椿沢と呼ばれる小さな沢があり、昔から、この沢には、恐ろしい大蛇(おろち)が住んでいるという言い伝えがありました。

ある日、遊びに夢中になった村の子どもたちが、うっかり沢のほとりへ来てしまい、恐ろしい大蛇のことを忘れ、大騒ぎをして遊びまわりました。

そのせいでしようか。百年も前から沢の底で眠っていた大蛇が、目を覚ましてしまいました。長い眠りで腹をすかせていた大蛇は、村へ出ては大暴れ。田畑の作物や牛や豚などをかたつぱしから飲みこんでいきました。

そんな時、牧山村の牧野九郎という若者が、大蛇退治に名乗りを上げました。九郎は刀をぬいて、大蛇が現れるのを待っていると、大蛇が姿を現し、九郎をひと飲みにししようとしました。その時です。ボウー、ボウーとほら貝が山一面に響き渡りました。

すると不思議なことに、大蛇はへなへなと地面にのたつてしまいました。九郎はこの時とばかりに、大蛇の首めがけて力いっぱい刀を振り下ろしました。その瞬間、天と地に稲妻がはしり、暴風雨となって、大蛇の首と九郎の刀のさやを押し流しました。やがて、九郎の刀のさやは、水竹神社に流れ着き、豊かな清水となり、村の田畑を潤しました。そして、この清水を「さやがぶち」と呼ぶようになりました。



## ◆10月号の答え

10月号クイズまちがいがし(太郎塩)にたくさんのご応募ありがとうございました。  
応募総数は71通あり、正解者は70人でした。  
その中で抽選を行った結果、幸運な方は次の5人の方です。

**当選者 敬称略・50音順**  
蒲郡町 浅岡 直江  
松原町 池田 絵里  
金平町 市川 久代  
形原町 鈴木 満柚子  
形原町 竹内 志織

おめでとございます。賞品は12月初旬に発送します。

※水竹神社には「さやがぶち」の碑が建てられています。